

玉 名 市 景観計画

菊池川が育んだ味わい深い景観を語るまち

－ 素案 －

2016. 07. 12

平成 28 年●月
玉名市

目 次

1. 玉名市景観計画の目的と位置づけ.....	1
1-1 目的	1
1-2 計画の位置づけ	1
2. 現況	2
2-1 人口と高齢化	2
2-2 歴史	4
2-3 地勢	6
2-4 土地利用現況	7
2-5 文化財	8
3. 景観特性	9
3-1 面的・線的特性	9
3-2 線的・点的特性	11
3-3 景観構造（断面特性）	12
3-4 景観特性（伝統・行事）	13
3-5 景観まちづくり活動	14
3-6 玉名市を代表する景観（玉名らしい景観特性）	16
4. 景観に係る課題整理	18
4-1 景観課題に関する基本的考え方.....	18
4-2 景観課題	19
5. 景観の将来像と基本方針	20
5-1 景観の将来像	20
5-2 景観形成の基本方針	22
6. 景観計画区域（法第8条第2項第1号関係）.....	23
7. 景観形成方針	24
7-1 景観形成方針の考え方	24
7-2 景観形成方針の内容	26
8. 玉名市における景観形成	エラー！ブックマークが定義されていません。
8-1 景観形成推進地区・景観形成準備地区・一般地区と眺望景観保全地区.....	エラー！ブックマークが定義されていません。
8-2 地区区分	エラー！ブックマークが定義されていません。
8-3 地区別の景観形成	エラー！ブックマークが定義されていません。

- 9. 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針..... エラー! ブックマークが定義されていません。
 - 9-1 景観重要建造物の指定の方針..... エラー! ブックマークが定義されていません。
 - 9-2 景観重要樹木の指定の方針 エラー! ブックマークが定義されていません。

- 10. 屋外広告物に関する基本方針 エラー! ブックマークが定義されていません。

- 11. アクションプラン（協働の景観づくり） エラー! ブックマークが定義されていません。
 - 11-1 アクションプランの考え方 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - 11-2 アクションプランの内容 エラー! ブックマークが定義されていません。

- 12. 資料編 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - 12-1 関連計画 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - 12-2 住民意向 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - 12-3 景観ワークショップ及び景観学習会..... エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 玉名市景観計画の目的と位置づけ

1-1 目的

本市は、菊池川の恵みをうけ、豊富な水と緩やかに広がる玉名平野を有しています。また、小岱山と熊ノ岳・三ノ岳などの山々、有明海を望む、恵まれた自然資源に加え、古代・中世に築かれた古墳や遺跡、高瀬地区の歴史的なまちなみ等、歴史資源にも恵まれた田園都市です。

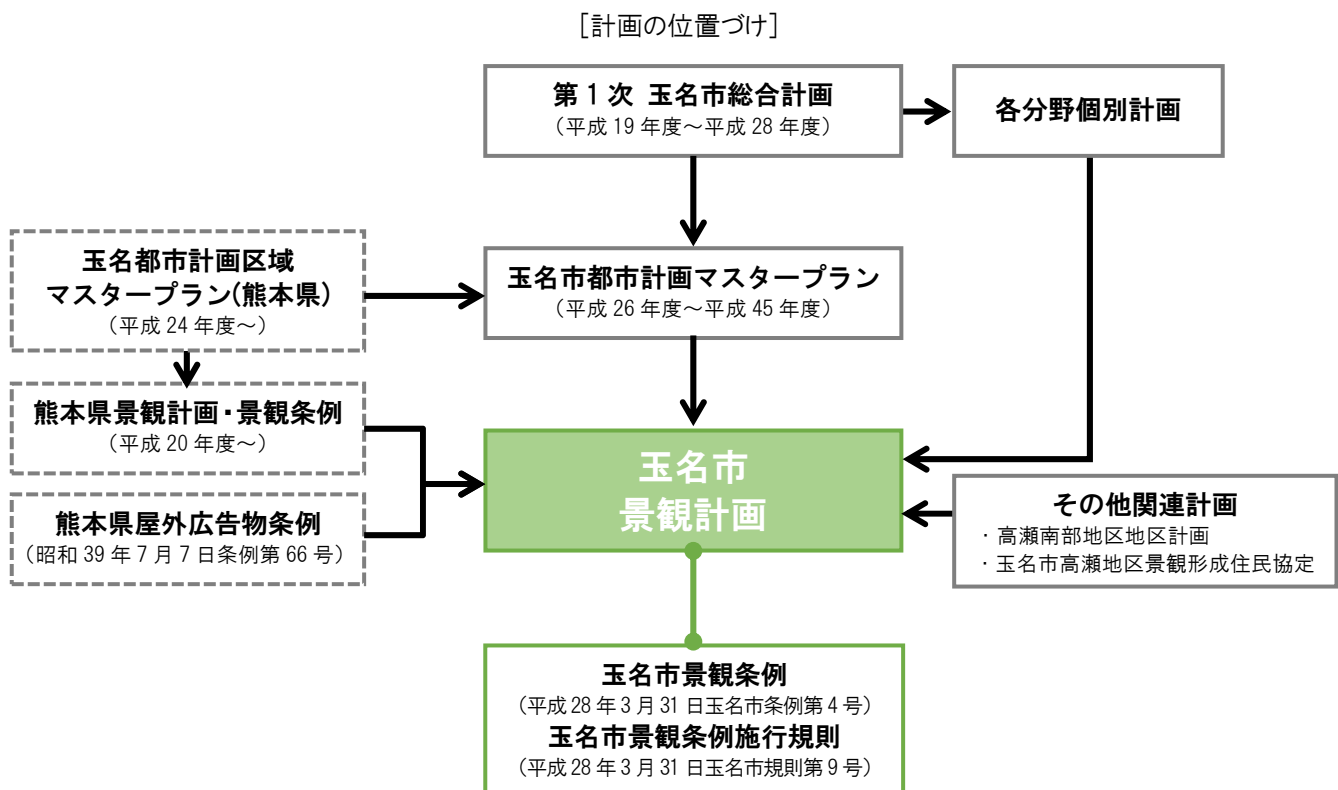
さらに平成 23 年 3 月の九州新幹線開通に伴い、新玉名駅が整備され、市の玄関口として更なる市街地の発展が見込まれています。

これらを契機として、自然環境や歴史資源と調和したまちなみ景観の創出により、街なかの賑わい創出と市民がやすらげる環境を創出する必要があります。

本計画は、それらの実現に向けて、市全体の景観形成の指針を示し、様々な取組を効果的かつ総合的に推進するものです。

1-2 計画の位置づけ

玉名市景観計画は以下のような位置づけとなっています。



2. 現況

2-1 人口と高齢化

2-1-1 人口と高齢化の状況

① 人口

国立社会保障・人口問題研究所は、2040年の玉名市の人口を約5万人、高齢化率を約4割と推計しており、この傾向が続けば、2060年時点の人口は4万人を下回ると推計されています。

そのような状況の中、平成27年12月に発表した「玉名市人口ビジョン」では、今後予測される人口減少に対し、市民の希望・理想が実現した場合の出生率や、熊本県の人口ビジョンにならい、社会減を2020年までに半分程度に縮小し、その後は人口移動が均衡することで、2060年の人口が5万2千人となる将来展望を示しています。

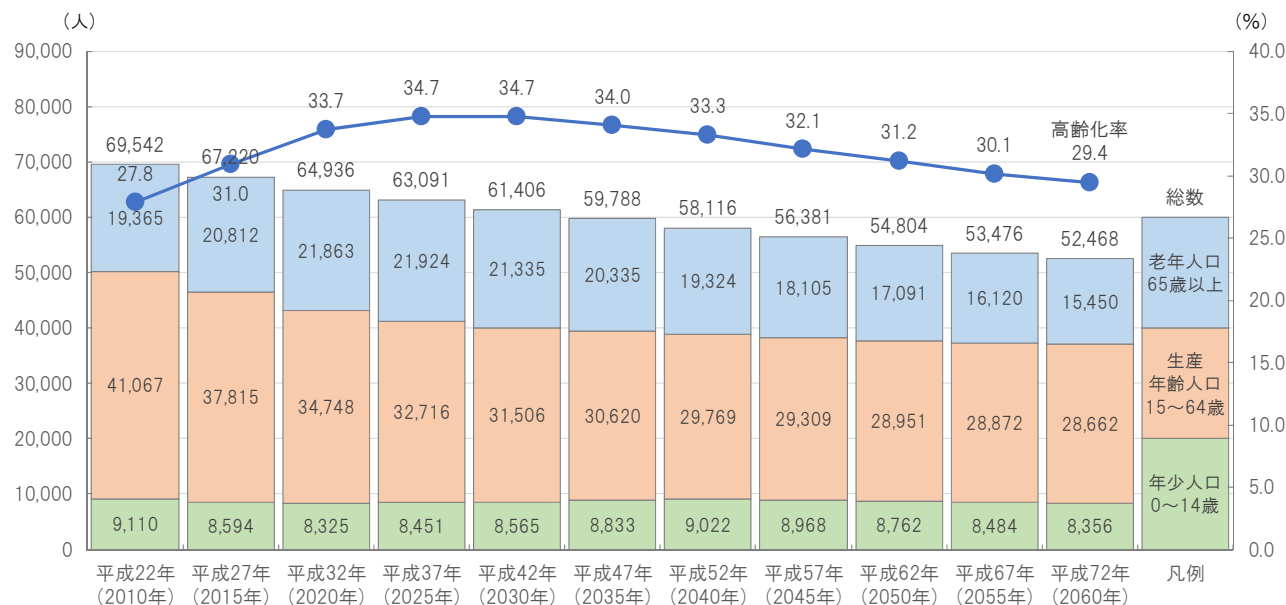
[玉名市の人口ビジョン]

	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)	平成72年 (2060年)
総数(人)	69,542	67,220	64,936	63,091	61,406	59,788	58,116	56,381	54,804	53,476	52,468
年少人口:0~14歳	9,110	8,594	8,325	8,451	8,565	8,833	9,022	8,968	8,762	8,484	8,356
生産年齢人口:15~64歳	41,067	37,815	34,748	32,716	31,506	30,620	29,769	29,309	28,951	28,872	28,662
老年人口:65歳以上	19,365	20,812	21,863	21,924	21,335	20,335	19,324	18,105	17,091	16,120	15,450

年齢別割合(%)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)	平成72年 (2060年)
年少人口:0~14歳	13.1	12.8	12.8	13.4	13.9	14.8	15.5	15.9	16.0	15.9	15.9
生産年齢人口:15~64歳	59.1	56.3	53.5	51.9	51.3	51.2	51.2	52.0	52.8	54.0	54.6
老年人口:65歳以上	27.8	31.0	33.7	34.7	34.7	34.0	33.3	32.1	31.2	30.1	29.4

出典:玉名市人口ビジョン(平成27年12月):平成27年以降は推計値

[将来人口推計と高齢化率の推移]

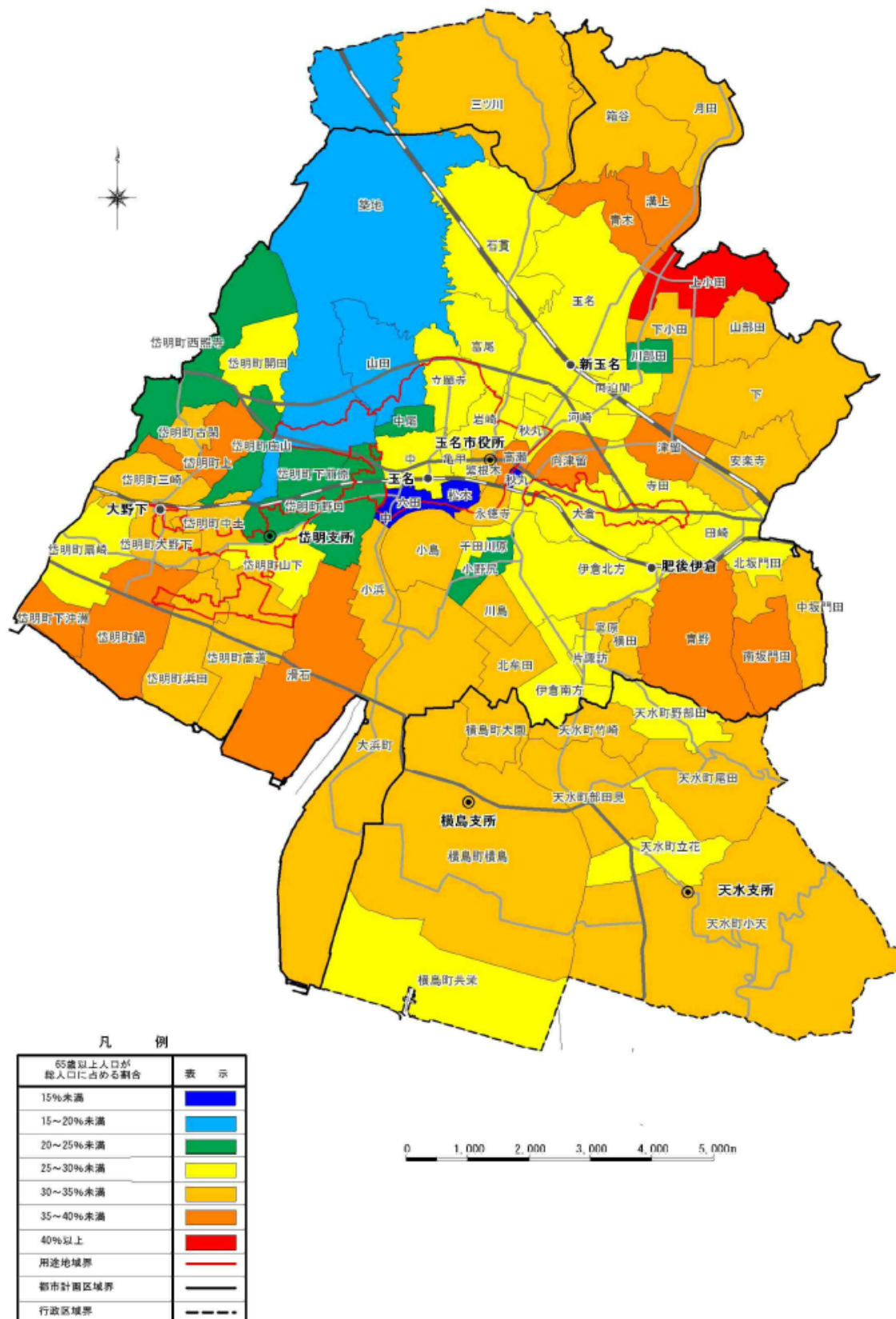


出典:玉名市人口ビジョン(平成27年12月):平成27年以降は推計値

② 高齢化

横島地区、天水地区、岱明地区の沿岸部において比較的高い結果となっています。

[高齢化の状況]



2-2 歴史

2-2-1 玉名市の歴史

① 原始・古代

縄文時代から人々の暮らしの跡を連綿とたどることができます。米造りの技術や金属器が伝わった弥生時代には、斉藤山貝塚から日本最古といわれた鉄斧が出土しています。中期以降には大規模な集落が営まれ、広域での交流を物語る南海産のゴホウラ製貝輪や、青銅製の鏡などの貴重な遺物がみられます。

古墳時代には、玉名平野周辺に有力な前方後円墳が築かれます。阿蘇溶結凝灰岩製の石棺は瀬戸内海から近畿地方まで運ばれ、この地域がヤマトの王権にとっても重要な地であったことを示しています。後期には、大坊古墳、永安寺東古墳・西古墳、石貫ナギノ横穴群や石貫穴観音横穴など色鮮やかな装飾古墳が盛んに造られます。

国のかたちが整えられた奈良時代には、玉名平野を中心に方形の土地区画である条里制が広がります。立願寺周辺は、古代玉名郡の中心地であった郡倉、郡家、郡寺の推定地があります。また、小岱山麓一帯では、六反製鉄跡にみられるように砂鉄をつかった製鉄が盛んにおこなわれます。玉名平野の稲作に加え経済的な基盤となっていたことが考えられ、菊池川の河口は海上交通の拠点となっていました。

② 中世

武士が活躍した鎌倉から室町時代には、菊池氏が高瀬の港を軍事、貿易の根拠地としていったようです。一族の高瀬氏が保田木城を築いたとされ、高瀬の町が形づくられていきます。菊池川では中国製の焼物が大量にみつかり、国際貿易港としての名残です。中国商人や高僧の往来などもあり、寿福寺を始めとする高瀬五山や、伊倉五山のほか、様々な宗派の寺院が建立されて仏教文化が花開きます。

戦国時代になると、高瀬はキリシタン大名大友氏の支配下にはいります。ルイス・フロイスなど多くの宣教師が立ち寄り、布教活動と共に貿易にも関わっていたので、港としての高瀬、伊倉は重要な地域でした。その後江戸時代の初めにかけて、キリシタン墓碑や、中国商人達の墓などが残されています。

③ 近世

豊臣秀吉の天下統一後、加藤清正が入国しました。菊池川の掘り換えをおこなうなど、多くの事業を行ったとされていますが、二代で改易になり、細川氏が入国します。

高瀬は重要な港として、御蔵や御茶屋が整備されます。天保年間には藩内最高の 25 万俵を扱っており、大坂へ廻送された高瀬米は、堂島の米相場を左右したと言われています。高瀬の町は熊本藩五か町の一つとして町奉行がおかれ、商業などの特権を与えられて、大坂や瀬戸内方面と盛んに商取引を行っていました。廻船問屋町の大浜も商業活動が活発となり繁栄します。

④ 近・現代

明治 10 年の西南戦争では戦場になり、高瀬御蔵、御茶屋など主要な施設も焼失し、港としての機能は大幅に失われました。明治 24 年には九州鉄道が開通し、流通手段は水運から鉄道へと移行します。

新しい産業として、米作と並んで盛んになったのが蚕糸業です。大正時代入ると機械製糸が導入され、基幹産業として発展しました。また、明治 34 年には大浜町で早野義章により海苔の養殖が導入され、今日も盛んな有明海の海苔養殖へとつながります。

戦後の復興期を経て、自動車交通の発達とともに、国道 208 号線、510 号線が整備され、交通の要衝としても栄えてきました。交通の利便性や豊富な人材を背景に、伝統の海苔加工を始め、近年は自動車関連など

の工業生産も盛んです。また、玉名温泉、小天温泉など良質な温泉にも恵まれ、多くの史跡とともに観光資源となっています。農業生産では、広大な干拓地での従来からの米作に加え、イチゴやトマトなどの生産が、また金峰山塊西麓の丘陵地帯では、柑橘類の生産が盛んです。

平成 17 年 10 月には、玉名市と岱明、横島、天水 3 町の合併で新玉名市が誕生しました。平成 23 年には九州新幹線の開通により新玉名駅が開業し、菊池川の恵みとともに栄えた玉名市は、熊本県北の拠点都市として現在に至ります。

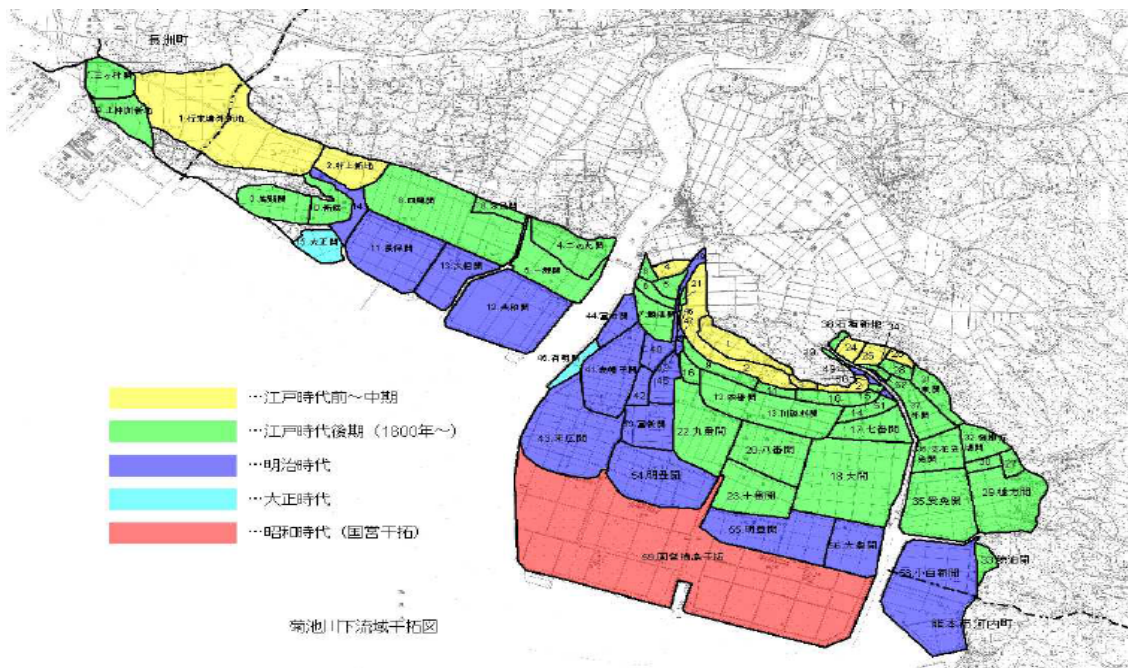
2-2-2 干拓の歴史

菊池川が運んだ土砂は有明海に広大な干潟を産み出し、大きな干満の差を利用して干拓が行われてきました。江戸時代から昭和に至る間に、75 か所の干拓地が拓かれました。文化年間以降は特に盛んに行われ、横島で細川藩家老の有吉家为中心となって大規模に事業を行ったほか、有明海沿岸で多くの耕地が拓かれました。

明治 20 年から 30 年代には地元の大地主共同による、比較的大規模な干拓事業が進みました。大浜町の末広開、横島町の明丑・明豊・大豊開が相次いで開かれており、5.2 km に及ぶ堤防と樋門が国指定重要文化財旧玉名干拓施設として残されています。昭和 42 年の国営横島干拓完成まで、第一線堤防として高潮被害からの復旧と補強を繰り返し、豊かな実りを支えてきました。土木技術の面からは優れた建造物として、また豊かな農地を含めて重要な文化的景観として注目されています。



〔干拓の歴史〕



出典：玉名市の干拓遺産

2-3 地勢

本市は熊本県北西部に位置し、南北の距離は約 17km、東西は約 14.5km、市域の面積は約 152km²です。

菊池川は、流域の大地をうるおし、豊かな文化を育んできた「人々の生活を支えてきた恵みの川」であり、本市は、菊池川の恩恵を受けて繁栄してきました。菊池川が運んだ土砂による有明海の広大な干潟は、豊かな生態系を育み、海苔やアサリなどの水産業が盛んに行われています。

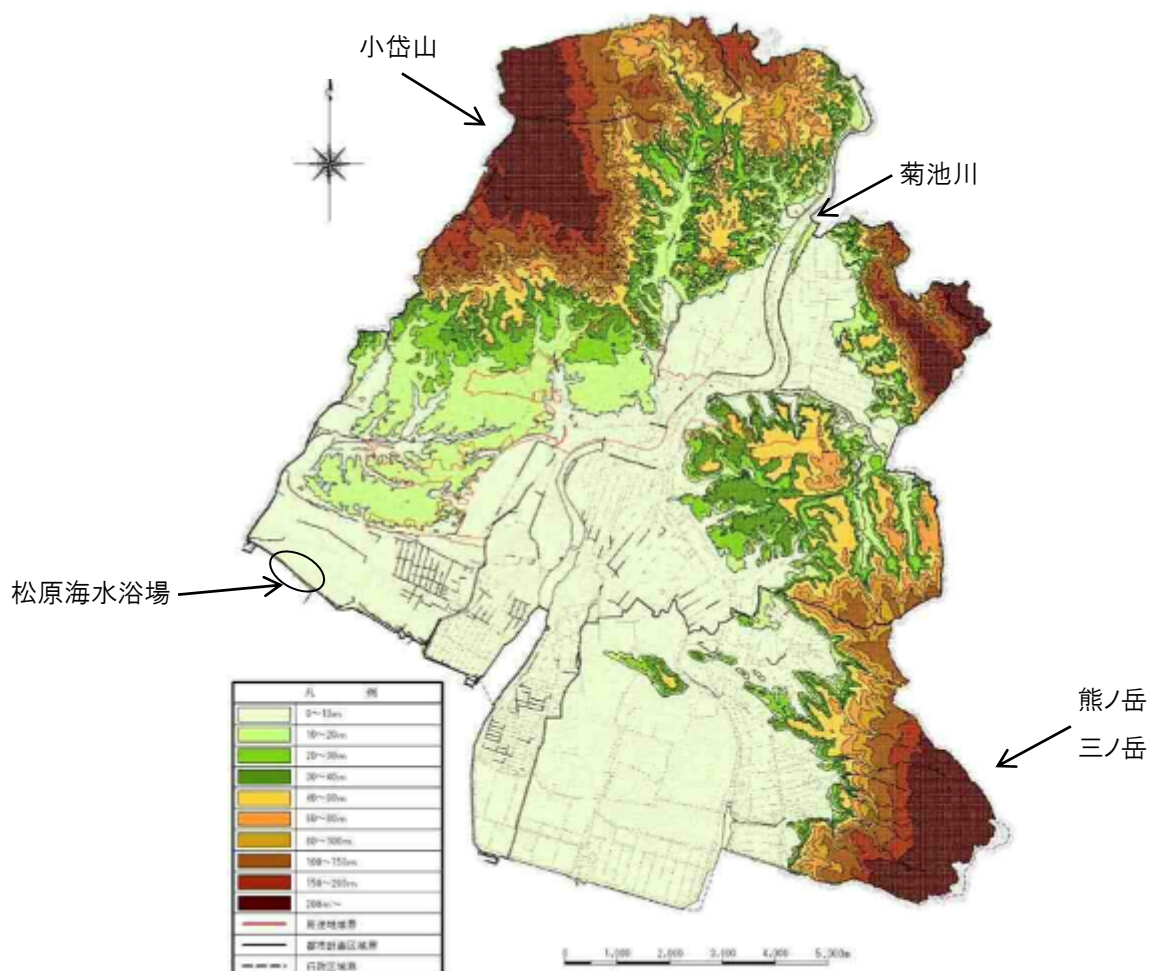
菊池川と市の中心部を挟んだ北側には、小岱山系の山々と麓の丘陵地帯の濃い緑が見られます。また、市東南部の天水地区では金峰山系の熊ノ岳・三ノ岳がそびえ、その西麓にはなだらかな丘陵地帯が広がっており、柑橘類の栽培が盛んです。

広大な干拓地は豊かな穀倉地帯であり、本市の主な作物である米、麦を中心に、イチゴ、トマトなどの施設園芸が行われています。

小岱山の麓には 1300 余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉を有しています。また、市の南部、有明海を望むみかん園の裾野にある小天温泉は、夏目漱石の名作「草枕」の舞台としても知られています。

海辺には熊本県北唯一の松原海水浴場があります。

[玉名市の地形(標高)]



2-4 土地利用現況

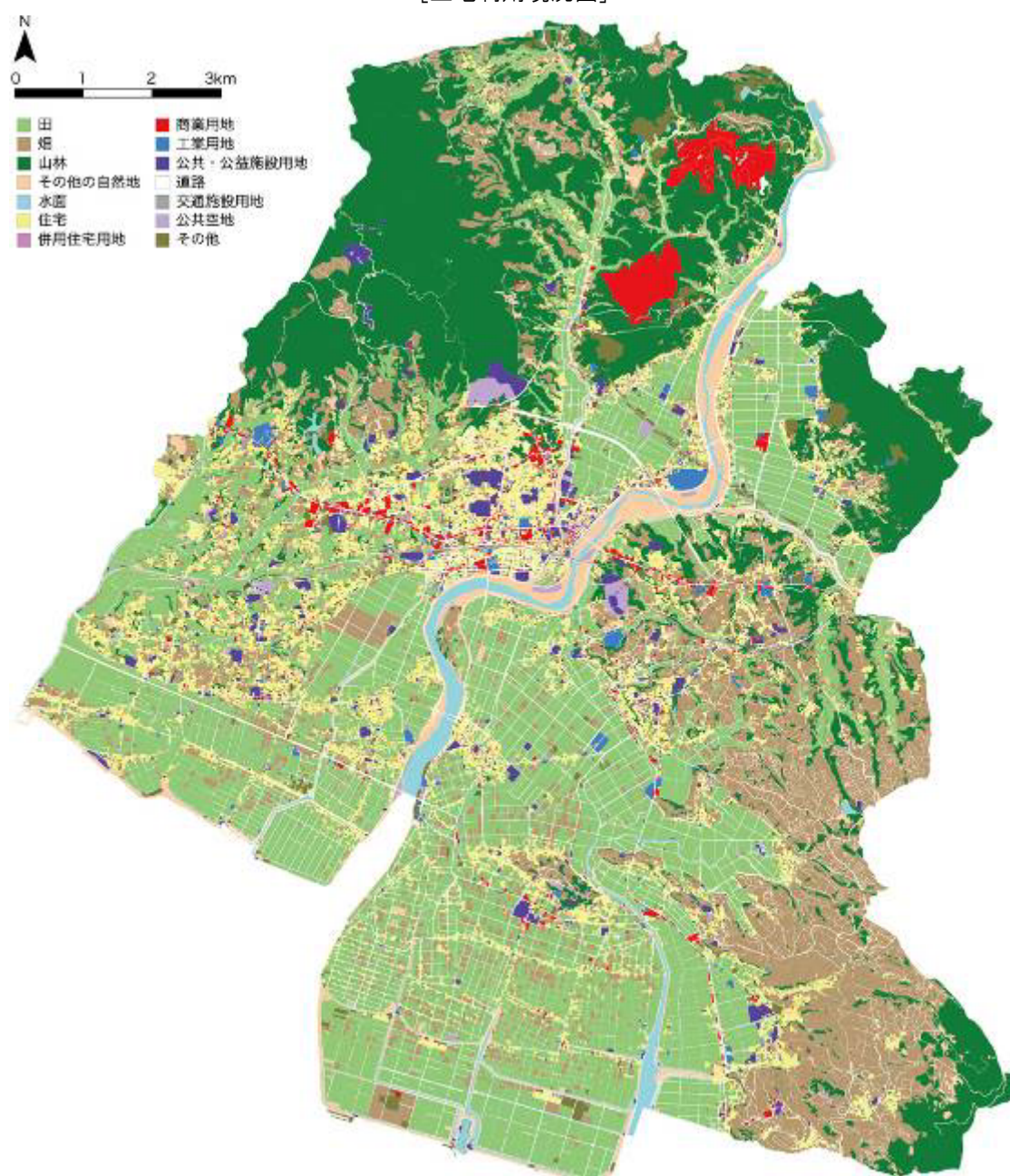
玉名市の土地利用現況は、田と畑で市域面積の約半数を占め、自然系面積は市域面積の8割を占めています。

[玉名市の土地利用現況]

自然系					人工系								その他
田	畑	山林	その他の自然 地	水面	住宅	併用住 宅用地	商業 用地	工業 用地	公共・ 公益施 設用地	道路	交通施 設用地	公共 空地	
4,641	2,784	3,339	685	435	1,325	40	275	112	259	815	57	67	323
30.7%	18.4%	22.0%	4.5%	2.9%	8.7%	0.3%	1.8%	0.7%	1.7%	5.4%	0.4%	0.4%	2.1%

上段の単位：ha

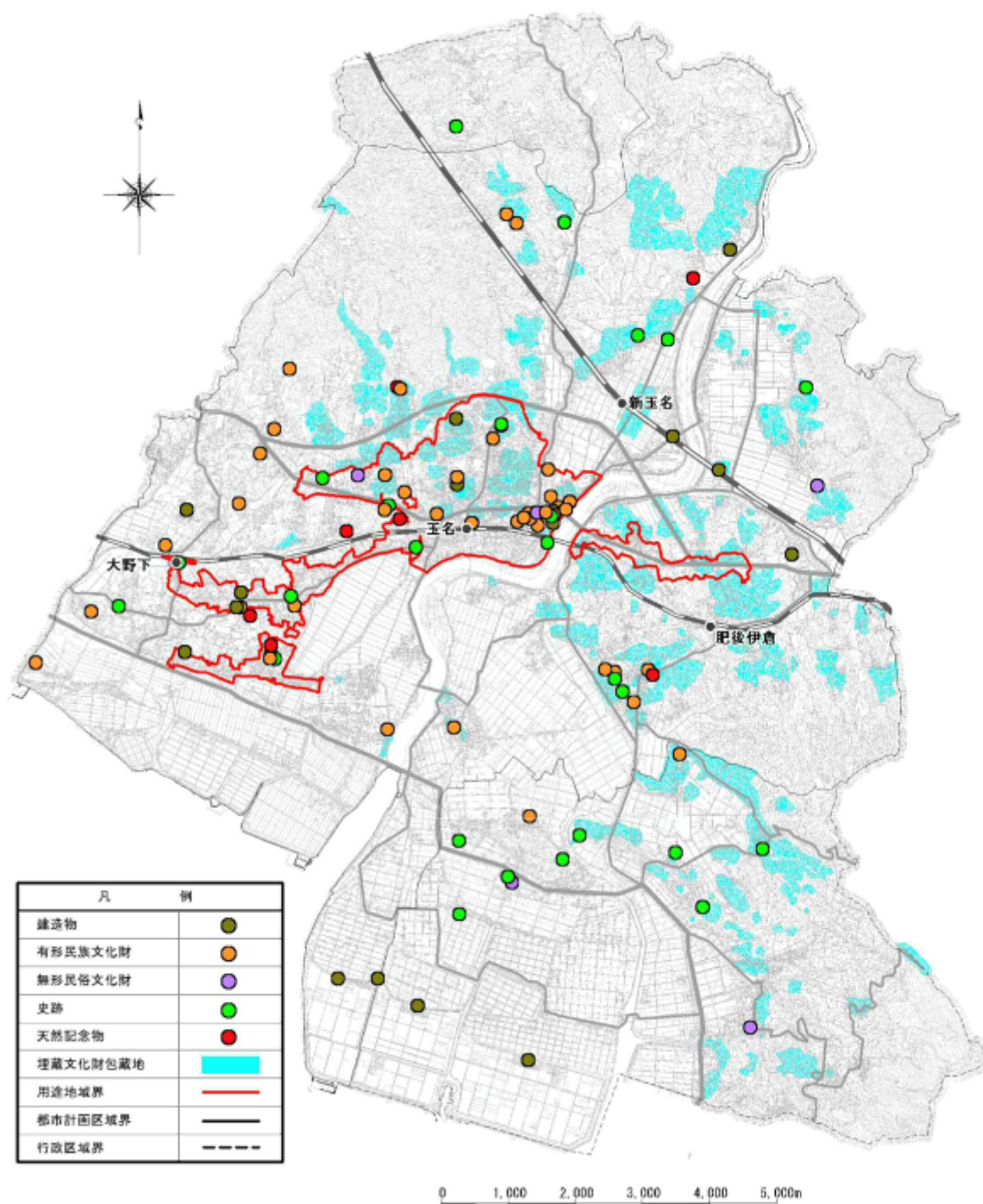
[土地利用現況図]



2-5 文化財

本市の文化財指定状況は、指定・登録併せて 153 件となっています。(H28. 3. 31 現在)その内訳は、国指定文化財 9 件(旧玉名干拓施設、大坊古墳など)、国登録記念物 1 件(菊池川堤防のハゼ並木)、国登録文化財 7 件(梅林天満宮、熊本県立玉名高等学校本館など)、県指定文化財 13 件(高瀬目鏡橋、経塚・大塚古墳群など)、市指定文化財 76 件(伝左山古墳、高瀬船着場跡など)、市登録・選択文化財 47 件(玉名郡倉跡、石塘附石塘樋門など)と内容は自然や干拓遺産をはじめ歴史的文化財など多岐にわたっています。

[文化財位置図]



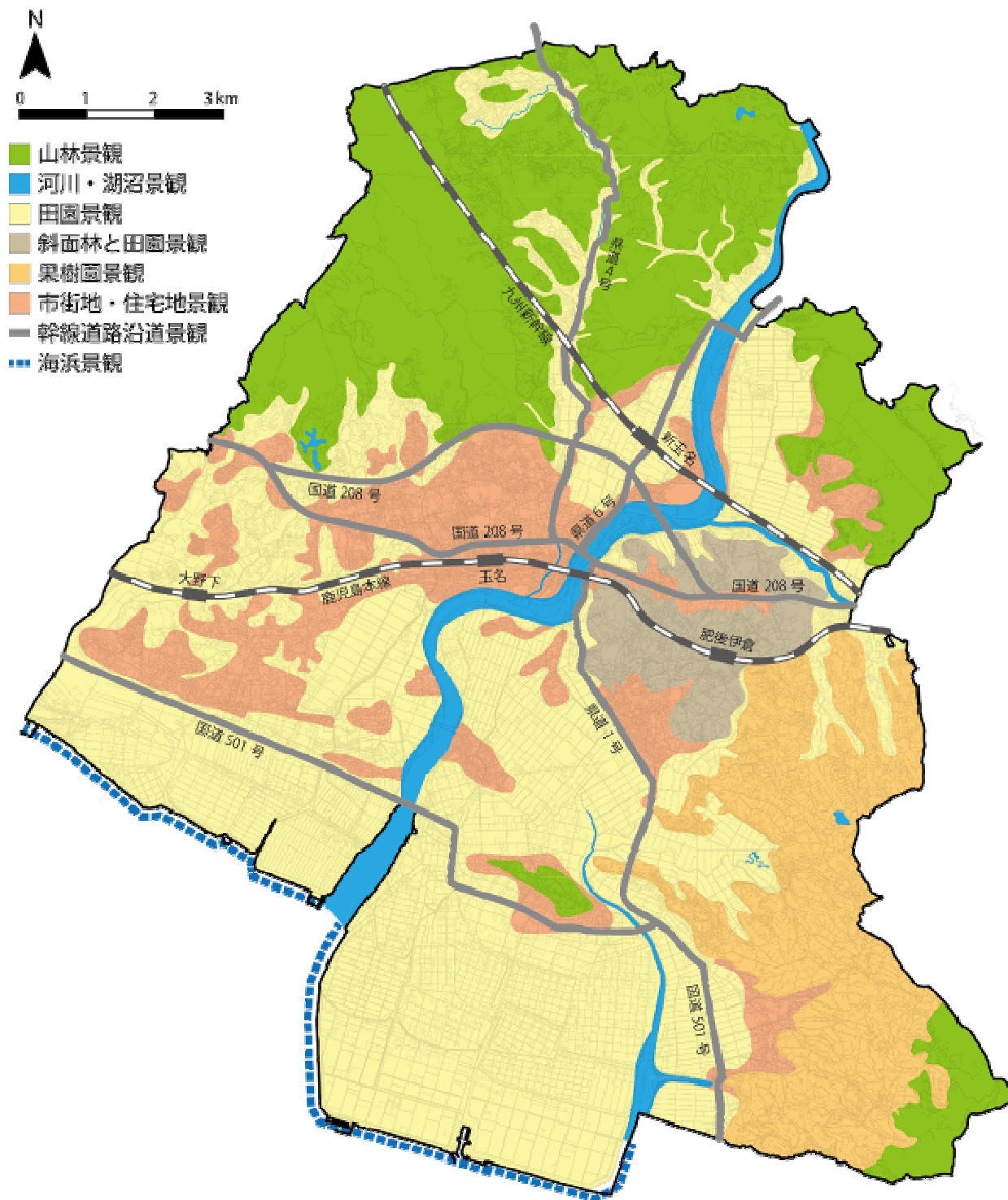
出典：玉名市資料、H23 都市計画基礎調査

3. 景観特性

3-1 面的・線的特性

本市の成り立ちや土地利用現況、現地の状況を踏まえると、山林景観、河川・湖沼景観、田園景観、斜面林と田園景観、果樹園景観、市街地・住宅地景観、幹線道路沿道景観、海浜景観に分類することができます。

[景観特性図]



山林景観	小岱山や熊ノ岳・三ノ岳などの山々による緑豊かな景観が見られます。			
河川・湖沼景観	菊池川はじめ、高瀬裏川、繁根木川などの河川、尾田の丸池などの湖沼景観が見られます。			
田園景観	広大な田園、干拓地が広がり、美しい農地景観が広がっています。			
斜面林と田園景観	斜面林に囲まれた田園景観が広がっています。			
果樹園景観	熊ノ岳・三ノ岳などの山々を中心にみかん畑が広がり、石垣が特徴的な景観となっています。			
市街地・住宅地景観	高瀬のまちなみや住宅地、新玉名駅の新たな市街地がつくられています。			
幹線道路沿道景観	街なかでは、多彩な看板が設置されています。沿道には緑や花が植えられている所もあります。			
海浜景観	有明海の干潟や美しい白浜の海岸、漁船等の景観が見られます。			

3-2 線的・点的特性

3-2-1 景観資源

本市は、菊池川のハゼ並木や有明海、広大な田園やみかん畑などの農業景観、蛇ヶ谷公園などの多様で豊かな景観を有しています。

また、古墳や寺院、碑などの歴史的資源が各地に残されており、特に山林部、高瀬裏川周辺に分布しています。小岱山と実山展望公園、山の上展望公園、桃田運動公園は代表的な視点場であり、玉名平野や干拓地の雄大な景観を望むことができます。

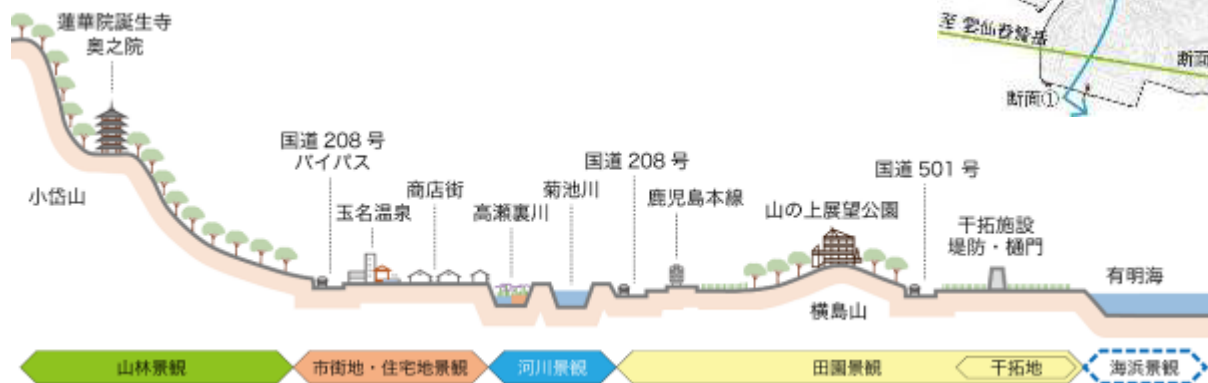
〔景観資源図〕



3-3 景観構造（断面特性）

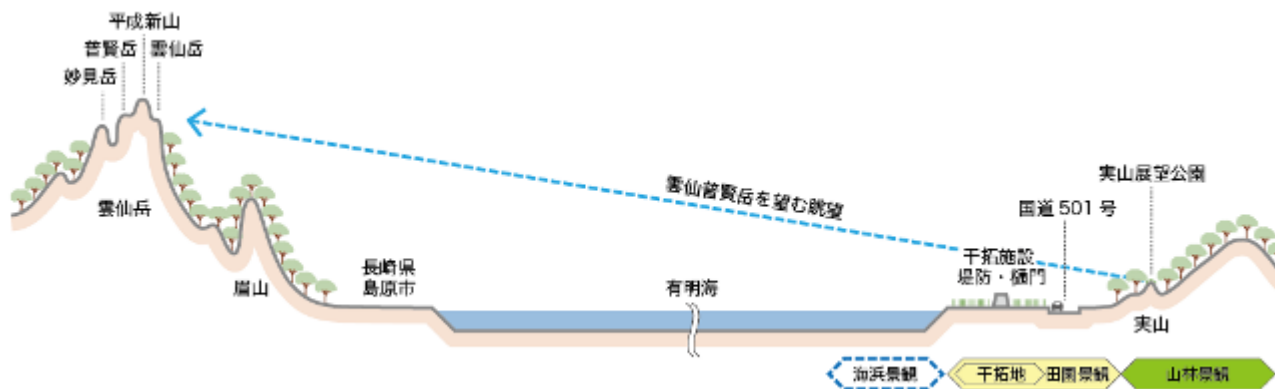
3-3-1 断面①

小岱山から有明海の断面構造を見ると、山林景観、市街地・住宅地景観、河川景観、田園景観、干拓地、海浜景観となっており、多様な景観がつくられています。



3-3-2 断面②

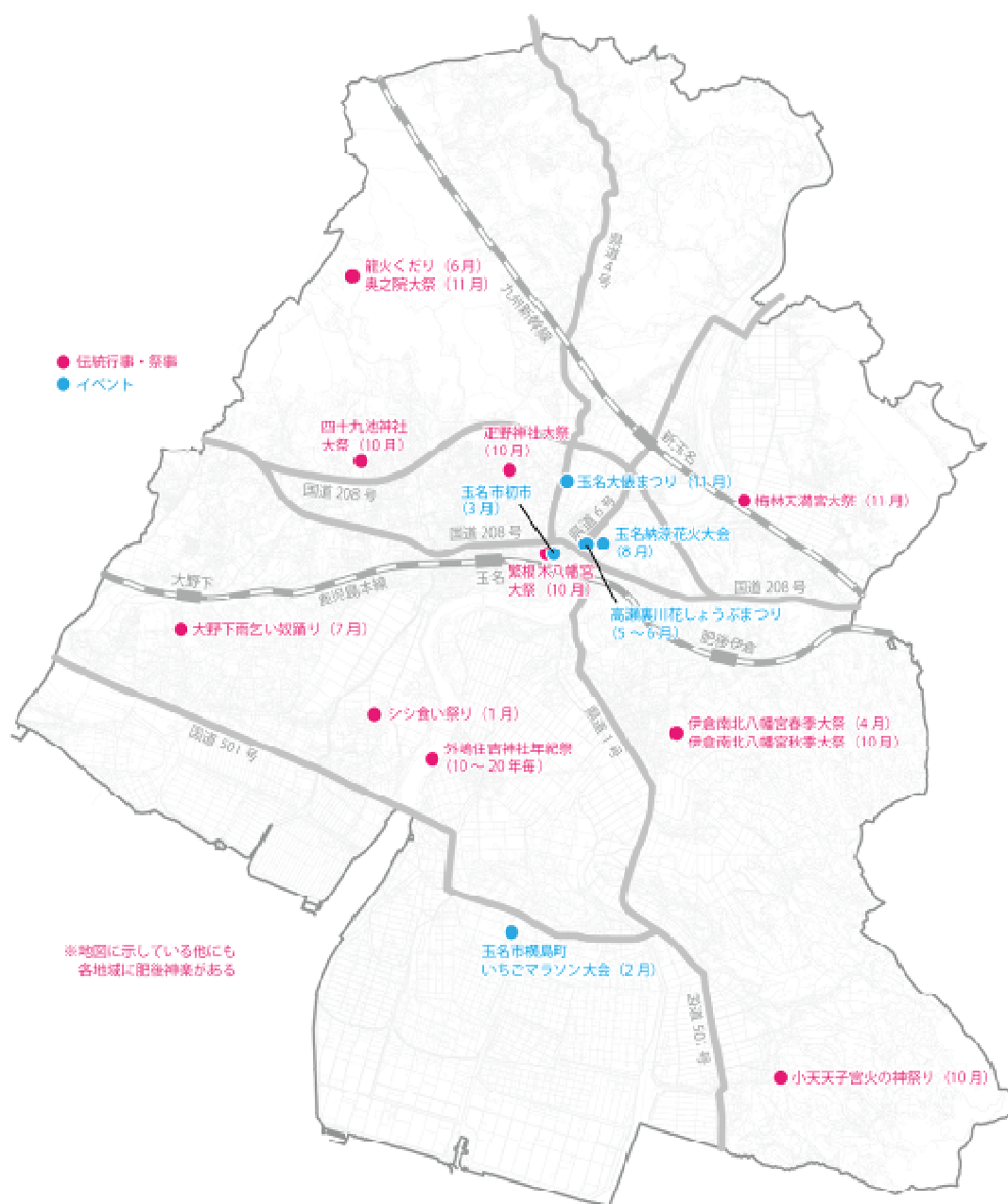
実山展望公園からは、干拓施設を含む美しい田園景観が眼下に見え、その先には有明海が広がり、遠景には雲仙普賢岳を望むことができます。このような壮大な景観を望むことができる代表的な眺望点となっています。



3-4 景観特性（伝統・行事）

本市のまつり・イベントは、春夏秋冬で非日常の景観を見せています。

[伝統行事・祭事・イベント開催地]



高瀬裏川花しょうぶまつり



玉名大俵まつり



小天天子宮火の神祭り



3-5 景観まちづくり活動

市内では、景観に関わるまちづくり活動が行われています。これらの活動は市民の身近な所から良好な景観を生み出すことができ、景観づくりの大きな力となっています。

〔まちづくり活動団体(一例)〕



修景前



修景後

高瀬地区修景事業
(高瀬まちづくり協議会)



うろんころん高瀬
(高瀬まちづくり協議会)



高瀬まちとみちを考える集い
(高瀬まちづくり協議会)



干拓堤防の清掃
(玉名市横島町文化財保存顕彰会)



サテライト研究室
(崇城大学秋元研究室)



天水ウォーキング
(天水・草枕の里観光協議会)



花いっぱい運動
(八嘉校区まちづくり委員会)



築山校区の花づくり
(築山校区まちづくり委員会)



藤の里事業
(築山校区まちづくり委員会)



田んぼアート
(田んぼアートプロジェクト委員会)



ホタルの里 日嶽清掃活動
(睦合校区まちづくり委員会)

自然景観		
玉名市にあらゆる恵みを与えてきた 菊池川の景観  本市を貫く雄大な菊池川の景観は特徴的です。	小岱山系や金峰山系が育む 緑豊かな山林景観  小岱山や金峰山は地域のシンボルであり、豊かな山林景観が育まれています。	美しい有明海と 松原海岸の海浜景観  白浜海岸と松原、広大な干潟を有する有明海が美しい海浜景観を見せています。

生業景観		
雄大な農地が広がる 美しい田園景観  広大な農地が広がる田園景観は、四季を通じて美しい姿を見せています。	約 400 年もの長い年月かけて 築造された干拓地の文化的景観  先達たちの努力や歴史を感じる干拓施設と干拓地が調和した姿は希有な景観となっています。	丘陵地帯の特性を生かした 石積みのみかん畑の景観  広大なみかん畑と石垣が調和した特徴的な景観がつくられています。

市街地景観		
商人のまちとして栄えてきた 商店街と高瀬裏川の景観  高瀬のまちなみや石垣と石橋、花しょうぶが織りなす特徴的な景観がつけられています。	1300 余年の歴史を持つ玉名温泉と 温泉街のまちなみ景観  玉名温泉の歴史を伝える温泉街のまちなみは、独特の景観を見せています。	新しい市街地形成が期待される 新玉名駅の周辺景観  新しい顔としての整備が期待される新市街地の景観となっています。

眺望景観		伝統行事・祭事景観
稜線が美しい山並みを望む 玉名平野からの眺望景観  小岱山や金峰山の稜線が、美しい眺望景観を見せています。	玉名平野を眼下に、 遠景の雲仙普賢岳を望む 絶景の眺望景観  眼下に広がる玉名平野やみかん畑、遠景に望む雲仙普賢岳の眺望は、圧巻な景観を見せています。	春夏秋冬の伝統行事による 非日常の景観  伝統的な行事や祭は、本市ならではの非日常的な景観を見せています。

4. 景観に係る課題整理

前記 2～3 の整理を踏まえ、本市の景観に係る課題を以下に整理します。

4-1 景観課題に関する基本的考え方

景観は、人々の生活や経済活動、自然活動等の「営み」により形づくられ、私たちの目に見えています。この「人・自然の営み」が本市の歴史や文化をつくり、玉名市らしさを表す景観要素となっています。

その営みから形づくられた景観要素は、地域の宝として守られてきた自然やまちなみ、遺構等もあれば、景観を阻害する要因となっている場合もあり、2つの性格を有しています。

そのなかで、本市には、人・自然の営みによってつくられた魅力的な景観資源がたくさんあります。

しかし、市民や来訪者にその良さが効果的に見せられておらず、魅力を伝えきれていない状況があります。こうした状況は、市民や来訪者に景観への興味が深まりにくくなり、関心・問題意識の醸成が十分に図られなくなってしまいます。

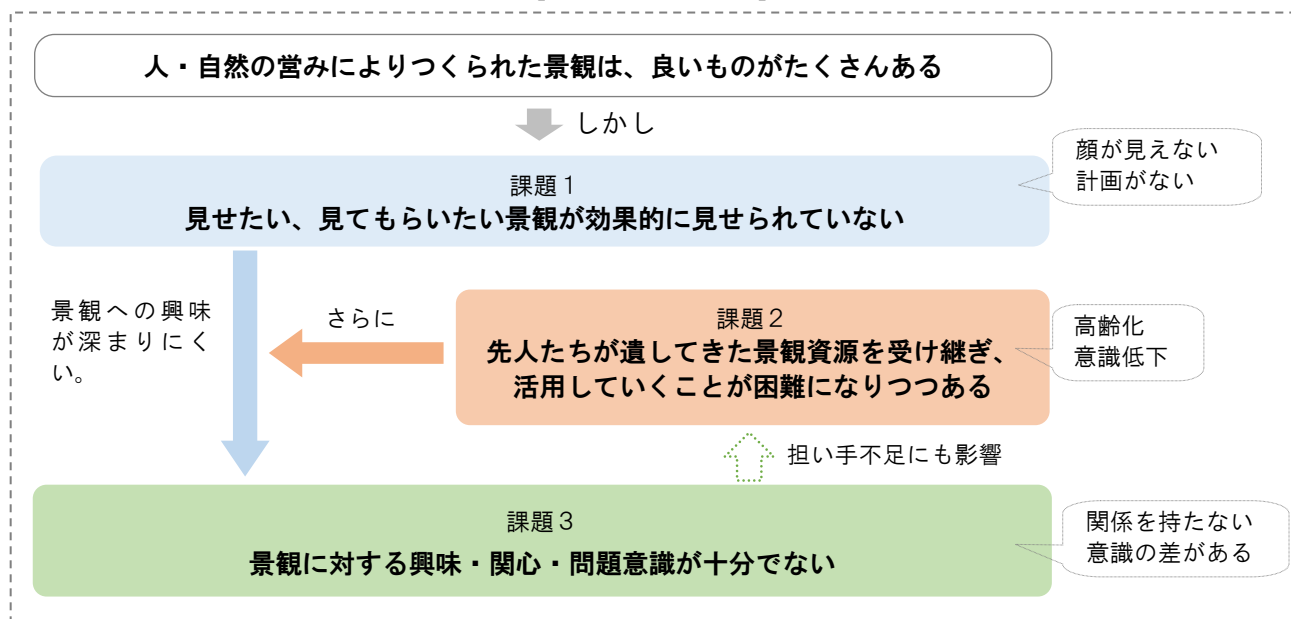
さらに、景観への意識が薄れると、先人たちが遺してきた景観資源がなくなってしまうたり、後世に受け継ぐことができなくなってしまうたりと、本市の魅力低下につながってしまいます。

このような状況を踏まえ、見せたい景観を的確に見せる「戦略的に見せる仕掛け」、景観形成には人の活動が不可欠であることから、「景観づくりの担い手確保」が重要となります。

さらに、人の営みにより景観が形づくられるため、人々の景観に対する意識が高いほど、景観に関する気配りができ、良好な景観形成を図ることができることから、市民の「景観意識を高める」ことが必要となります。これは、景観形成にあたって本質となる課題です。

これらを本市の景観に係る課題として整理し、良好な景観形成に向けて対応していきます。

〔景観課題の関連図〕



4-2 景観課題

前項の“4-1 景観課題に関する基本的考え方”の課題内容について、以下に整理します。

課題1 見せたい、見てもらいたい景観が効果的に見せられていない

玉名市には、小岱山や菊池川、干拓地、みかん畑、鍋松原海岸、高瀬のまちなみ等、多様で良質な景観資源を有しています。個々の資源は魅力があるものの、景観資源付近のイメージにそぐわない広告がつくられたり、まちなみの連続性を欠いたりなど、景観資源を含めた空間の見せ方（演出）が十分でなく、景観としての魅力が高いとは言い難い状況があります。また、良い資源が多くあるからこそ、見せたい景観を絞り込めておらず、まちなみの顔が見えないという状況もあります。

そのため、今後の景観づくりにあたっては、本市が「見せたい、見てもらいたい景観」に焦点を絞り、玉名らしさを感じる景観を見せる戦略や仕掛けが必要です。

課題2 先人たちが遺してきた景観資源を受け継ぎ、活用していくことが困難になりつつある

現在の景観は、突然できあがったものではなく、先人たちの努力により長い年月を経て現在の景観がつくられています。こうした景観は、市民・事業者をはじめ、景観に関わるまちづくり団体や農家等の活躍が不可欠となっています。

しかし、人口減少や少子高齢化の影響を受け、活動を休止したまちづくり団体や農家数の減少による耕作放棄地が増えるなど、景観資源の維持だけでなく、まちづくり活動や農業等の生業が困難になりつつあります。

さらに、魅力的な歴史的資源や文化遺産が各地に残されているものの、十分に活かされておらず、なじみの景観が少なくなっているなど、景観資源を失いかねない問題も抱えています。

これらのことから、先人たちがつくりあげてきた景観を守り、活用していく担い手の確保が必要です。

課題3 景観に対する興味・関心・問題意識が十分でない

景観は、市民の日常の生活や経済活動の積み重ねにより形づくられています。その中で、自然やまちなみから目立つ高彩度の色彩の建築物や工作物、乱立する屋外広告物などにより、良好な景観を損ねていることがあり、ひとりひとりの行為が景観づくりにつながっているという当事者意識や問題意識が十分でない状況があります。

良好な景観形成の実現には、「良い景観をつくろう」とする景観に対する関心や「景観は市民の財産である」という意識を高めることが極めて重要です。意識を高めるためには、本市の景観資源やその良さを広く浸透させることが不可欠となります。さらに、景観に関する意義や大切さ、知識等を普及させ、意識の高揚を図ることが必要です。

5. 景観の将来像と基本方針

5-1 景観の将来像

本市の景観特性と課題を踏まえ、景観まちづくりを進めるにあたって、「景観の将来像」を掲げます。

菊池川が育んだ味わい深い景観を語るまち

本市は、菊池川の恵みを受けた商業や農業、水運、玉名温泉、干拓、山の資源や丘陵を活かしたみかん畑や石垣、古墳文化など、自然の恵みを受けて発展してきました。こうした景観は、訪れる度に良さを実感していく『味わい深い』魅力があり、落ち着いた景観がつくられています。これが本市の特徴・らしさとなっており、今後も大切にしていきたいことが重要です。

こうした景観は、先人たちの活躍によりつくり守られ、“玉名市の景観”として目に映っています。私たちが、これを本市の宝として受け継ぎ、市民にとっても、来訪者にとっても心地良い景観として未来に伝えることは使命であり責任です。

この受け継いだ宝“玉名市の景観”の価値を高め、未来へつなぐためには、みんなが景観について興味や関心、問題意識を持って景観を『育て』、わたしたちが自信を持って、玉名の景観を『語る』ことがとても大切です。このような考え方により、『菊池川が育んだ味わい深い景観を語るまち』を景観の将来像として掲げます。ビジョンの実現にあたっては、まず、景観に興味・関心・意欲のある市民や団体が景観まちづくりを率先して行い、市民を巻き込むきっかけをつくります。

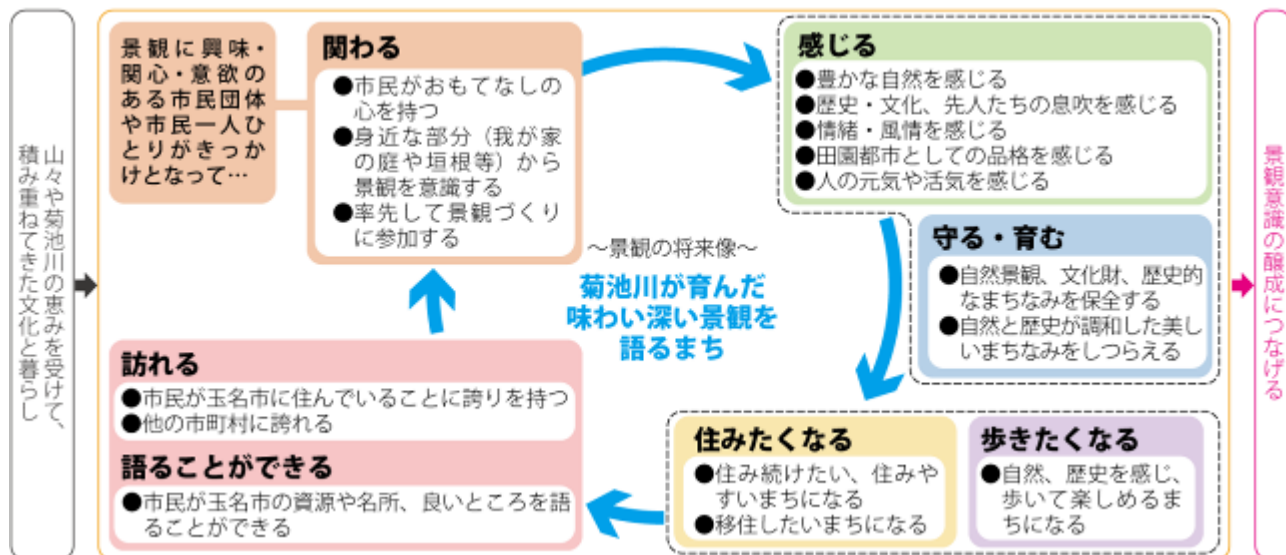
市民一人ひとりが景観について関わりを持つことで、各々が玉名の景観を感じて意識が深まり、守り育むための行動・活動につながります。

こうした活動が行われることで良い景観が生まれ、住みたくなる、歩きたくなる魅力的なまちがつけられます。

魅力が高まることで、市民が誇れるまちとなり、自信をもって玉名を語れる市民が増えていきます。これにより、景観に興味・関心・意欲のある市民や将来を担う子どもたちが増えることとなります。

これら一連の取り組みが循環し積み重ねることで、『菊池川が育んだ味わい深い景観を語るまち』が実現し、景観意識の醸成につながります。

[将来像の考え方]



[味わい深い玉名の景観(代表景観)]

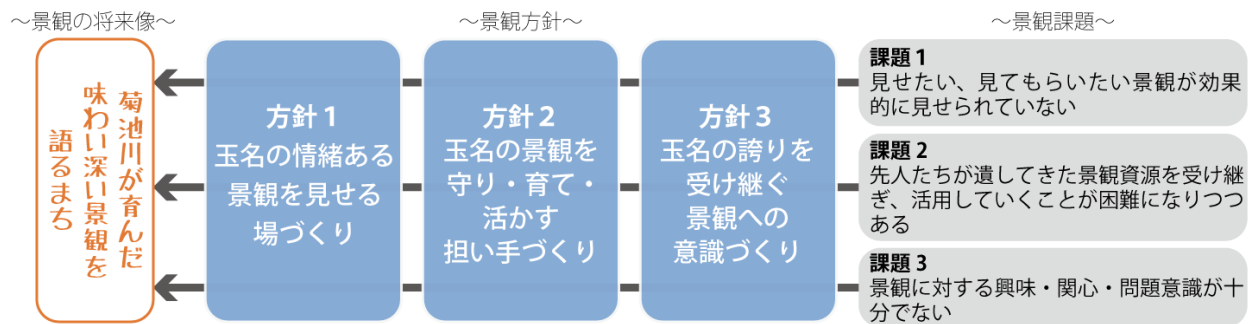
玉名市では、下表の景観が各地で見られます。これらは、本市で生まれ、積み重なり、豊かな深みが表れた、味わい深い景観となっています。

		人文的			
		信仰	農林水産	商工	その他
自然的	海				
	川	 	 	 	
	平野	  	  	  	  
	山	 	  		 

5-2 景観形成の基本方針

本市の景観に係る課題に対応し、将来像を実現するために、以下の景観まちづくりの基本方針を掲げます。

〔課題と方針の関係性〕



方針1 玉名の情緒ある景観をみせる場づくり

- ❖ 効果的な景観づくりのためには、今ある景観資源を磨き、手入れをして、よりよく“魅せる”工夫が重要となります。玉名らしいすばらしい景観を魅せるために、景観資源が持つ特長や独自性、歴史性、文化性を捉えた“情緒ある”演出を行います。
- ❖ 効果的に景観を魅せるためには、“ある視点場に立って、見たい対象が見えやすい状況にある”ことが大切であるため、本市の良い景観を望むことができる視点場や眺望点の掘り起こしと設定を行います。さらに、建築物や工作物、屋外広告物、遺跡等、景観資源そのものを磨き上げ、周辺の雰囲気づくりなどと合わせ、しつらえを整えます。この考え方のもと、地域住民が「心地良い」と思い、来訪者に「行きたい」と感じてもらえる戦略的な景観づくりを図ります。

方針2 玉名の景観を守り・育て・活かす担い手づくり

- ❖ 現在の景観は、先人たちの努力により長い年月を経て積み重なっています。これは、本市の宝・誇りであり、他にはない「玉名らしさ」を表現する資源です。この資源を守り、育て、活かしながら、景観形成を進めていくことが大切です。
- ❖ こうした景観資源の継承や良好な景観形成には、市民、事業者をはじめ、景観まちづくりに取り組まれている個人・団体が担い手となり、その活動を行政がサポートしながら進めていくことが効果的です。脈々と受け継がれてきたこれらの景観を後世に残し、良好な景観形成を進めていくため、特に、景観まちづくりに携わっている人材と連携を強化・支援しながら、担い手の裾野を広げ、育てる取り組みを進めます。

方針3 玉名の誇りを受け継ぐ景観への意識づくり

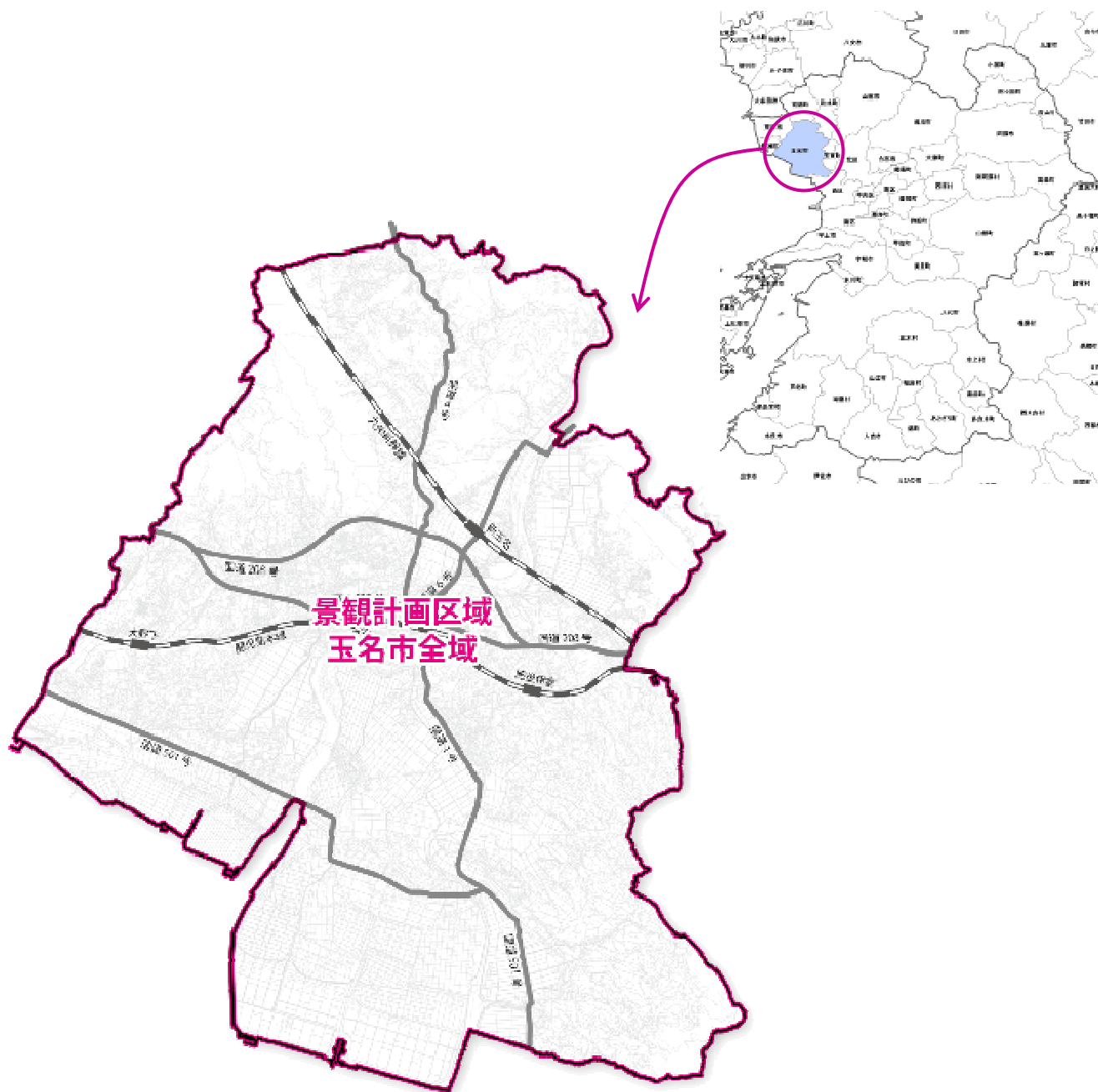
- ❖ 景観は、人と自然の営みの表れです。特に、人の営みは変化が早く、人々の景観への興味・関心の有無、考え方や思想は多様であることから、良くも悪くも景観に影響を与えやすい傾向があります。このことから、良好な景観形成には、市民一人ひとりが景観に興味・関心を持ち、「玉名市の景観を良くしよう」とする意識を持つことが重要です。
- ❖ そのため、市民には、景観づくりの意義や重要性を伝えるだけでなく、玉名の景観資源やその資源の歴史・文化的背景についても発信・教育することで、市民が玉名の景観の価値や良いところを認識し、“誇り”を醸成する取り組みを進めます。
- ❖ さらに、効果的な景観形成に向け、景観まちづくりの熟度に合わせて少しずつ景観を育てていく、身の丈にあった景観形成基準（きまり）を定めます。

6. 景観計画区域 (法第8条第2項第1号関係)

山林、河川、田園、市街地など、景観は連続性を持っており、それぞれが一体となって、人々の目に映っています。また、景観形成や景観まちづくりは、本市全体で推進することで、景観の魅力向上（ベースアップ）につながります。

そのため、景観計画区域は、「本市全域」とします。

[景観計画区域]



7. 景観形成方針

7-1 景観形成方針の考え方

市全体の“景観課題”と“景観の将来像”を踏まえ、「景観形成方針」を設定します。

景観形成方針を設定するにあたって、市の成り立ちや景観の構成状況を踏まえると「山の恵みとともに育まれた暮らし」の景観と「菊池川とともに発展した暮らし」の景観に大別できます。

それぞれを実情に合わせて“山の恵みとともに育まれた暮らし”では、「山林・集落景観ゾーン」「みかん畑・集落ゾーン」に分け、また、“菊池川とともに発展した暮らし”では、「菊池川流域景観ゾーン」「市街地景観ゾーン」「田園景観ゾーン」「干拓景観ゾーン」に分けて景観形成方針を整理しています。

それらの景観づくりに合わせて、各景観ゾーンの総合的な眺めとして、「景観をつなぎ魅せる場所」である、「幹線道路景観ゾーン」と「眺望点」に関する方針を定めています。

また、本市の風土や信仰から生まれた文化的行事やイベント（非日常の景観）も、方針として整理しています。

[景観形成方針の大分類]

山の恵みとともに育まれた暮らし	菊池川とともに発展した暮らし
● 市内には広く分布する阿蘇の灰石（阿蘇溶結凝灰岩）は、古くから古墳や横穴、石橋や石垣などに使われてきました。 ● 小岱山の麓では、豊かな水田が広がり、集落がつくられ、人々の暮らしが営まれてきました。 ● 一方、熊ノ岳、三ノ岳の丘陵では、石垣とみかん畑が広く分布し、みかん栽培を生業としている農村集落で生活が営まれてきました。夏目漱石もみかん畑の風景を愛しており、草枕でも描写されています。 ● こうした山の恵みを受けて、文化や産業が生まれ、魅力的な景観が形づくられてきました。	● 菊池川は玉名市を南北に貫き、市全体に恵みを与えてきました。 ● 重要な港であった高瀬には、藩の米蔵が置かれ、経済の中心として発展しました。 ● 海外貿易拠点であった伊倉地区や港町であった大浜地区など、菊池川と共に水運で栄えてきた町があります。 ● かつて立願寺温泉と呼ばれ、1300年もの歴史を持つ玉名温泉街がつくられました。 ● 田園では、菊池川水系の恩恵を受けて、豊かな農業が営まれてきました。また、干拓地では、石づくりの堤防や樋門等の土木施設がつくられ、豊かな農地が築造されたことで、本市の産業を支えてきました。 ● このように、菊池川は加藤清正の時代から治水事業により形を変えながらも、市の発展を支え、現在の景観が形づくられてきました。
景観をつなぎ見せる場所	玉名の風土・信仰が生んだ非日常の風習
● 幹線道路は市外や市内の各景観ゾーンをつなぎ、人や車等の行き来に非常に重要な交通の基盤です。多くの人が道路沿道の連続的な景観を見ることができます。 ● 有明海では、ノリ養殖などの漁場や広大な干潟を見ることができ、雄大な景観を見せています。	● 本市の自然や風土、人々の営みや信仰等から生まれた、伝統行事・祭事・イベントが継承されています。 ● 伝統行事・祭事・イベントは、春夏秋冬で非日常の景観を見せています。

[景觀形成方針図]



山の恵みとともに育まれた暮らし

山林・集落景観ゾーン

■ゾーンの特性

- ❖ 本市北部には小岱山、東部には木葉山、東南部では熊ノ岳・三ノ岳、玉名平野には横島山が位置しています。
- ❖ これらの山々は、本市の周りを取り囲み、豊かな濃い緑を見せ、玉名平野の背景となっています。
- ❖ 山々の恩恵により今日の豊かな生活や文化が育まれ、豊かな緑は、憩いや安らぎを与えており、登山やレクリエーションなどで市民から親しまれています。
- ❖ 石貫穴観音横穴を守る石貫安世寺地区など、魅力的な集落景観が所々に見られます。
- ❖ 繁根木川は、玉名地域を縦に分かつ菊池川の支流であり、昔から市民に親しまれてきた川です。



小岱山



熊ノ岳・三ノ岳



木葉山



石貫安世寺地区



繁根木川

■景観形成方針

玉名を取り囲む緑豊かな山々と文化を魅せる景観づくり

- ❖ 山林・河川をはじめとした、豊かな自然資源や生態系を保全します。
- ❖ 山林・河川景観に配慮しつつ自然資源を活かし、ふれあうことができる環境をつくります。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は、山林・河川景観との調和に配慮します。
- ❖ 集落では、集落それぞれの特徴を活かし、地域特有の歴史を継承する景観づくりを行います。また、農業の振興や担い手の確保、農機具、農業資材等の整理整頓、畦道の花植えなど、美しく魅せる工夫を行います。

みかん畑・集落ゾーン

■ゾーンの特性

- ❖ 天水地域における熊ノ岳、三ノ岳のなだらかな丘陵地帯に、広大な果樹園（みかん畑など）景観が広がっています。
- ❖ 全国でも上位を争うトップクラスの生産量を誇るみかんの大産地となっています。
- ❖ みかん畑には、石垣が築造されている場所もあり、特徴的な景観となっています。
- ❖ みかん農村集落（赤仁田地区：熊本県農村景観コンクール美しき村賞、下有所地区：熊本県農村景観コンクール農村景観大賞）の魅力的な集落景観が所々に見られます。また、天水地域は、「田園空間博物館（農林水産省）」に位置づけられています。
- ❖ 小天は、夏目漱石が愛した地とされ、小説「草枕」にみかん畑が描写されています。
 - 作中、「那古井の宿」として前田家別邸や「老隠居」として前田案山子も登場し、前田家に関わる資源が遺されています。
- ❖ オレンジロード（広域農道）では、道路の両側や遠景にみかん畑が広がる美しい景観となっています。



みかん畑の石垣



みかん畑の展望



赤仁田地区



みかん畑



下有所地区



オレンジロード

■景観形成方針

石垣となだらかな斜面に広がるみかん畑と集落を魅せる景観づくり

- ❖ 果樹栽培の振興や担い手の確保に努め、美しい果樹園景観の維持に努めます。
- ❖ 農機具や農業資材等の整理整頓や石垣の手入れなど、果樹園を美しく魅せる工夫を行います。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は果樹園景観との調和に配慮します。
- ❖ 郊外の集落では、集落それぞれの特徴を活かし、これまでの特有の歴史を継承する景観づくりを行います。

菊池川とともに発展した暮らし

菊池川流域景観ゾーン

■ゾーンの特性(菊池川)

- ❖ 本市を北から南に縦断する菊池川は、迫力のある雄大な河川景観となっています。
- ❖ 菊池川は、流域の大地をうるおし、古墳文化を開花し、生活を支えてきた恵みの川であり、河川交通として唯一「歴史の道百選」に選ばれています。玉名市は菊池川から多くの恩恵を受けて発展してきました。
- ❖ 菊池川に沿って、堤防にハゼ並木が整備されている区間があり、秋にはきれいな赤色の葉を見せます。
- ❖ 高瀬裏川には、石垣や船着場など商家町、港町として繁栄してきた歴史的遺産が今も数多く残っています。



菊池川



菊池川堤防のハゼ並木



高瀬裏川

■景観形成方針

雄大な菊池川を魅せる美しい景観づくり

- ❖ 菊池川の雄大さや美しさを引き立たせる堤防、河川敷の景観をつくります。
- ❖ 菊池川堤防のハゼ並木や雑草等の手入れを行い、美しい河川景観をつくります。
- ❖ 彩度の高い派手な橋りょうを避け、河川景観の調和に配慮します。
- ❖ 高瀬裏川から高瀬船着場跡においては、魅力的な歴史的資源が遺されており、市を代表する観光拠点であることから、特に配慮した景観づくりを行います。

■ゾーンの特性(菊池川とともに発展したまちなみ)

- ❖ 高瀬は、菊池川の恩恵を受け、早くから海外渡航や貿易拠点として重視されていた港で、熊本藩の米蔵と船着場がおかれ、商人のまちとしても栄えてきました。
- ❖ 大浜、伊倉においても、港町の名残をとどめている風情のある歴史的な建築物が立地しているまちなみが見られます（大浜地区：菊池川水運と共に支えた港町、伊倉地区：中世の海外貿易拠点）。
- ❖ 風情ある建築物や看板等が見られますが、景観に影響を与える建築物や屋外広告物の立地も見られます。



高瀬の町並み



大浜地区



伊倉地区

■景観形成方針

歩きたくなる居心地の良い景観づくり

- ❖ 建築物や工作物のしつらえを工夫し、魅力があり居心地の良い空間となるまちなみ景観をつくります。
- ❖ 高瀬エリアにおいては、魅力的で風情のある建築物が見られ、市を代表する観光拠点でもあることから、特に配慮した景観づくりを行います。
- ❖ 屋外広告物は、まちなみの雰囲気や特徴を的確に把握し、景観に配慮して設置するよう努めます。
- ❖ 集落それぞれの特徴を活かし、これまでの特有の歴史を継承する景観づくりを行います。

市街地景観ゾーン(おおむね用途地域内)

■ゾーンの特性

- ❖ 低層の戸建て住宅を中心とし、店舗や工場等が混在したまちなみが広く分布しています。
- ❖ 多種多様な屋外広告物が乱立しています。
- ❖ 県北の拠点として、田園景観の中に新玉名駅と新市街地の骨格（道路基盤）が整備されており、色彩に配慮した店舗が立地しています。今後、景観に配慮した新しい市街地形成が期待されています。
- ❖ 寺社・仏閣をはじめ、特徴的な登録文化財が見られます。
 - 繁根木八幡宮、疋野神社、蓮華院誕生寺本院など
 - 県立玉名高校の本館、前庭池、正門（登録文化財）など



玉名温泉街



しらさぎの足湯



新玉名駅



駐車場での花植



色彩に配慮した店舗



玉名駅前

■景観形成方針

まちなみに付加価値をつける景観づくり

- ❖ 建築物や工作物の形状や色彩は、周辺のまちなみとの調和に努めます。
- ❖ 屋外広告物は、景観に配慮し、一定の秩序を持って設置するよう努めます。
- ❖ 市街地では、庭先の手入れや花植え等により、景観の価値を高める工夫に努めます。
- ❖ 玉名温泉街では、温泉街の雰囲気や醸し出す風情のあるまちなみ景観の醸成に努めます。

田園景観ゾーン

■ゾーンの特性(田園)

- ❖ 市域面積の5割弱が田園となっています。
- ❖ 玉名平野では、遠方まで見通せる広大な田園景観が広がっています。
- ❖ 本市の東部の伊倉地域では、玉名平野の田園と異なり、斜面林に囲まれた田園景観となっています。
- ❖ 山田日吉神社では、見事な藤が育てられ、多くの人が魅了されています。また、神社からまっすぐ馬場と呼ばれる参道に沿って白山十二坊といわれる坊跡の区画に住宅が建ち並ぶ景観が見られます。



田園(玉名)



斜面林と田園(伊倉)



山田日吉神社の参道

■景観形成方針

手が行き届いた、四季折々の美しい広大な田園と文化あるまちなみを魅せる景観づくり

- ❖ 農業の振興や担い手の確保に努めます。
- ❖ 農機具、農業資材等の整理整頓、畦道の花植えなど、美しく魅せる工夫を行います。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は田園景観との調和に配慮します。
- ❖ 郊外の集落では、集落それぞれの特徴を活かし、これまでの特有の歴史を継承する景観づくりを行います。

■ゾーンの特性(ため池など)

- ❖ 農業用水確保のため、各所にため池がつくられました。
- ❖ 浮田池は、農業の水不足の解消と灌漑区域^{かんがい}の拡大に向けて築造され、山林に囲まれた景観となっています。
- ❖ 尾田の丸池は、清流尾田川の水源として熊本名水百選にも選ばれており、わき水は農業用水として利用され、周辺住民に親しまれています。複数ある湧水地をつなぐように九十九曲がりと呼ばれる複雑な流れ方をしている独特な景観となっています。



浮田池



尾田の丸池



九十九曲がり

出典：国土地理院ウェブサイト
(地図・空中写真閲覧サービス)

■景観形成方針

水源や水質、豊かな生態系を保全し、水に親しむ景観づくり

- ❖ ため池の周辺では、雑草の除去や工作物、屋外広告物等の配慮など、居心地を高める工夫をします。
- ❖ 浮田池では、山林に囲まれた豊かな緑を活かして、水源の確保や水質の向上とともに、水に親しむ景観づくりに努めます。
- ❖ 尾田の丸池では、水源や水質を保全しつつ、九十九曲がりの川の流れや人々が水にふれあい親しむ景観づくりを図ります。

干拓景観ゾーン

■ゾーンの特性

- ❖ 江戸時代から干拓が盛んに行われ、昭和の国営横島干拓まで 75 ヶ所の干拓地が拓かれました。最も古い干拓地は加藤清正の時代から、最も新しい干拓地は昭和 42 年（1967 年）であり、約 330 年かけて築造されました。
- ❖ 市南部の干拓エリアでは、田畑とハウス栽培を中心とした農業が営まれており、広大な田園景観が広がっています。
- ❖ 電照されたビニールハウスは、幻想的な景観となっています。
- ❖ 横島・大浜地区では、干拓の歴史を物語る重要文化財「旧玉名干拓施設」が築造されており、干拓地としての独特な景観となっています。
- ❖ 港いこいパークでは、甲辰川の両岸に親水空間が整備されており、レクリエーションや憩いの場として使われています。



干拓地の田園



田園(ハウス)



干拓施設(堤防)



港いこいパーク



横島山

■景観形成方針

干拓の歴史と田園を魅せる景観づくり

- ❖ 農業の振興や担い手の確保に努めます。
- ❖ 農機具、農業資材等の整理整頓、畦道の花植えなど、美しく魅せる工夫を行います。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は田園景観との調和に配慮します。
- ❖ 干拓施設を適切に管理し、田園景観と一体で魅せる景観づくりに努めます。

景観をつなぎ魅せる場所

幹線道路景観ゾーン

■ゾーンの特性

- ❖ 国道 208 号では、店舗が沿道に立地していますが、まちなみ景観に影響を与える高彩度の色彩を持つ建築物や屋外広告物の乱立が見られます。
- ❖ 国道 208 号バイパスや国道 501 号、県道 1 号、県道 6 号は田園景観の中を横断しており、沿道に店舗や屋外広告物の立地は比較的少ない状況です。なかには、並木が整理されている区間があり、田園景観と調和したきれいな道路景観が整備されています。



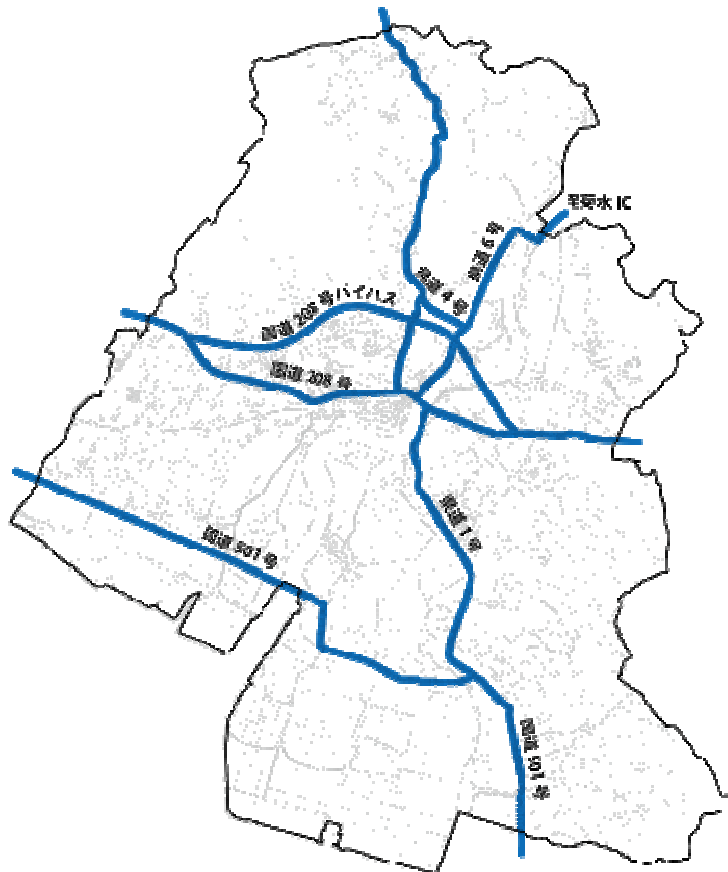
国道 208 号



国道 208 号バイパス



国道 501 号



県道 1 号



県道 6 号



県道 4 号

■景観形成方針

【中心部(用途地域内)】にぎわいと品格ある沿道景観づくり

【中心部以外】田園と調和した景観づくり

- ❖ 中心部（国道 208 号、県道 4 号）の幹線道路では、本市の中心部としてのにぎわいをつくりつつ、建築物や工作物、屋外広告物の色彩、形状等の品格の高い沿道景観をつくります。
- ❖ 中心部以外の幹線道路では、山林や田園の景観と調和した並木や花植え、屋外広告物の景観への配慮など、美しい道路景観づくりに努めます。

眺望点

■眺望点の特性

- ❖ 玉名平野や菊池川を見下ろし、雲仙普賢岳まで見渡せる俯瞰景（高い所から見下ろす景）の眺望点が各所にあります。特に、実山展望公園からは、眼下に広がる玉名平野やみかん畑、遠景に望む雲仙普賢岳の眺望は、圧巻です。
- ❖ 一方、玉名平野から小岱山や熊ノ岳、三ノ岳、木の葉山の美しい稜線を見渡せる仰瞰景（低い所から見上げる景）の眺望点が各所に見られます。また、干拓施設を見通せる眺望点も特徴的です。
- ❖ 天水地域では、夏目漱石が描いた「わが墓」のモデルとなった眺望点があります。
- ❖ 熊本県北唯一の海水浴場である鍋松原海岸が整備され、白浜と松原が美しい景観をつくっています。近景は白浜と松原、中景は干潟と海苔の養殖の様子、遠景は雲仙普賢岳が見え、壮大な景観となっています。夏になると、大勢の海水浴客によりにぎわいを見せます。
- ❖ 九州新幹線新玉名駅からは、周辺の田園景観が遠景まで見渡せます。また、短時間ではありますが、新幹線の車窓からも玉名の景観を見ることができます。JR 鹿児島本線からも、市街地や田園風景が車窓から見られます。



実山展望公園からの眺望



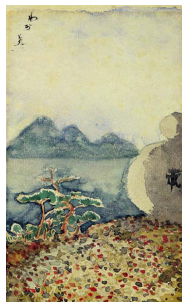
干拓施設の眺望



玉名平野からの山並みの眺望



漱石画「わが墓」のモデルとなった眺望



有明海・白浜・松原の眺望



有明海と漁場、干潟の眺望



新玉名駅舎からの眺望



日嶽

■景観形成方針

玉名市の良さを実感できる眺望点づくり

- ❖ 本市の良さや魅力を伝える眺望点の掘り起こしと設定を行います。
- ❖ 眺望点では、最も望ましい眺望となるよう、適切に木々の剪定や景観阻害要因をなくすなど、周囲の景観づくりを行います。
- ❖ 有明海の干潟、漁場（ノリ養殖等）の産業を守ります。

玉名の風土・信仰が生んだ伝統行事・祭事・イベント

伝統行事・祭事・イベント

■伝統行事・祭事・イベントの特性

- ❖ 本市では、各地で伝統行事や祭事、イベントがあり、市民に親しまれています。
- ❖ 伝統行事・祭事、イベントでは、神社などの固有の場で実施するものや、まちを練り歩いて実施するものがあります。そこでは、色とりどりの衣装を纏った人々、まちを練り歩く行列、はためく矢旗、多くの人でにぎわう様子など、日常のまちなみに非日常が重なる独特な景観を見せています。



伊倉のねり嫁行列



梅林天満宮大祭の流鎧馬



伊倉南北八幡宮春季大祭



玉名納涼花火大会



龍火くんだり



繁根木八幡宮大祭



神楽フェス

■景観形成方針

玉名に根付く伝統を魅せ、次世代に残す

- ❖ 継続的に伝統行事・祭事を執り行い、後世に継承するとともに、保存を行います。
- ❖ 継続的に魅力的なイベントを実施します。
- ❖ 市民の皆さんは、積極的に伝統行事・祭事・イベントに関わり、楽しめます。

